

(陳受27第5号)

武蔵野市民文化会館改修工事に関する陳情

受理年月日	平成27年8月27日
陳情者	吉祥寺東町2丁目 落合 朋子

陳情の要旨

平成28年から改修工事を予定している「武蔵野市民文化会館改修工事」に係る詳細な情報開示と、市の考え方が十分市民に浸透していない現状から、改めて議会でのご審議と調査をお願いするために、陳情を出させていただきました。

そもそも、平成25年に立案された「武蔵野市民文化会館改修基本計画」は、議会に行政報告がなく、平成26年度予算を審査する平成26年3月の「予算特別委員会」では厳しい指摘を議会がしており、委員会閉会直前には市長より今後の進め方について発言がありました。

また、引き続き平成26年5月27日及び9月1日に全員協議会が2回開催され、議員の方々からの厳しいご指摘を数々読み取ることもできました。会議の締めくくりに当たり、「執行部においては、本日出された意見を十分にしんしゃくされ、執行されるとともに、基本設計等の進捗状況については適宜議会へ報告されるよう要望いたします。」と記されております。一方で、市民としては、平成26年7月10日、12日、15日の3回にわたる市民説明会で、資料をいただき質疑を行い、パブリックコメントに意見を寄せることしかできませんでした。

武蔵野市の財政状況は、ここ10年程度はこれまで通りの財政力だと伺っておりますが、人口が少なくなつて、高齢者がふえ、今後30年、50年先にも子どもたちや孫たちが安心して武蔵野に暮らすことができるかどうかは、約束されていません。改めて、以下の点についてご審議いただき、調査を実施していただき、市民への詳細な説明会の開催等をお願いしたいと思います。

記

- 1 総工費約50億円に対して、どの程度の効果が見込めるのでしょうか。武蔵野市民文化会館のこれまでの運用実績、収支及び近隣区市の文化施設の成功例と、建設費、運用実績、維持管理費、人件費、収支報告等のデータをお示しください。
- 2 改めて地域振興につながる可能性があるのかどうか、総工費50億円を投入して、どの程度エリアに効果があると計算されたのか、データを具体的にお示しください。
- 3 総工費約50億円という金額は、一般市民の感覚から言えば、立派な文化ホールを新築するのかと思う金額です。改修というのであれば、「なぜ、こんな高額が必要か」という疑問が湧くのは当然のことです。改修箇所が多いということは、最初から欠陥建築物だったのでしょくうか。市民に向けて、議会が開催する広聴・公聴の一環で、「市民説明会」の開催を要望いたします。